

# Rails受託会社を作 っている話

竹内雄一

*Takeyu Web Inc.*

# はじめに

---

このセッションで話すこと

- フリーランスと法人成りの話
- お金の話

話さないこと

- Railsのこと

# 自己紹介

---

- 2008年～フリーランス
- 2016年 法人成り
- Rails 1.1～

# 目次

---

- フリーランス？
- フリーランスという生き方
- 法人成りという選択

# フリーランス？

---

## “自由”業

- 自分で仕事をもらって自分で進めて自分で納品する
- 客先常駐の場合個人事業主ではあっても自由業とは呼べないのでは (※)

※個人の感想です

# フリーランスのここがいい

---

自分の裁量で働きかたを決められる

# 場所の自由

---

- 通勤したくない
- 春は外出したくない
- 地方在住でも東京の仕事（高い）

# 時間の自由

---

- 休日混雑するところは平日行ける
- 仕事が手に着かない日は諦めて寝る

QoLの高まりを感じる！



# フリーランス最高や！

---

# フリーランスという生き方

---

フリーランスとして生きていく中で知ったこと、感じたこと

# 希望報酬を聞かれたら

---

金額交渉について

- 自分をいくらで売るか？
- 相対的な価値がわからないから値付けしようがない
- 難しい

# 自分をいくらで売るか？

---

- 自分がいくら欲しいかで決めてしま  
って良い
- 最適化は必要になってから
  - 安過ぎたら…次の契約で交渉
  - 高過ぎたら…お互いの落としどころを探る

# 「技術者の値段が技術以外（交渉力）で決まるのは…」

---

甘え。

# 仕事をもらうには

---

僕も答えは持っていないが…

自由だからこそ、仕事はキッチリと。

当たり前前のことを当たり前前やる。

イイ仕事できるから自由が許されると  
も言えるのでは

# 当たり前のことを当たり前にやる

---

当日になって「間に合わない」は論外

- 納期は目標ではなく最終期限
- メールはすぐに返す
- 問題はすぐ伝える

状況が見えないと不安になる

# フリーランスと税金

---

- 最初来たときびっくりする(した)
- 毎月積み立てておく
- 収入の3割ぐらいは税金のつもりで



# フリーランスと税金(1)

---

- 所得税

- 2年目から予定納税で分割して納める

- 住民税

- 普通徴収になる
  - 自分で納めると高い!と感じる

# フリーランスと税金(2)

---

- 個人事業税
  - あるラインを超えると発生…びっくりする
- 国民健康保険税
  - 扶養がない
  - 自治体によっては本当クソ高い
- 国民年金保険料

# フリーランスと消費税

---

もらってよい

- 1000万未満は免税
- 納めるの免除というだけ
- 消費税の納税額 = 受取消費税 - 支払消費税
  - 支払あるから受取もあるでしょ

# フリーランスと経費(1)

---

よく言われる

「フリーランスだと技術書とかPCとか  
経費にできてよい」

本当？

# フリーランスと経費(2)

---

経費といえども自分の金には違いない

**所得控除** というだけ

# フリーランスと経費と所得控除

---

所得控除とは？

課税所得を押し下げる効果がある

# 課税所得が減るって？

---

いろんな税金が安くなる

# PCを買う

---

- 会社員
  - 所得控除にならない
- フリーランス
  - 所得控除になる



# PCが所得控除になる

---

お得じゃん！

…と 思うでしょう？

# どうということ？

---

会社員は

何もしなくても

**給与所得控除** がある

# 給与所得控除？

---

働く上での必要経費。スーツ代とか、通勤費とか。

**年収600万なら180万近い額** になる

# 給与所得控除まじぱねえ

---

フリーランスの開発者が同じだけの控除を受けるのは **難しい**

# それってどういうこと？

---

フリーランスは

所得税や住民税が給与所得者に比べて重いってこと。

つらい

# フリーランスと老後の備えと税金

---

会社によっては退職金がある

# 退職金

---

- 普通の給与や事業所得に比べて、  
**所得控除がすごい**

フリーランスに退職金はない

といっても僕も退職金のある会社に勤めたことはないんで都市伝説と思っているが…

# 小規模企業共済

---

フリーランスの退職金といえはこれ  
これで積み立てておくと **全額が所得  
控除になる** のでありがたい(上限額あり)

ただし廃業するなど条件を満たさないと引き出せない



# 個人型確定拠出年金 (iDeCo: イデコ)

---

- **全額が所得控除**
- 月の拠出上限が会社員より高く設定されてる!
- 金融商品なのでリスクがある

# 自分であれこれ調べて貯めるし かない！

---

小規模企業共済 + iDeCoで  
最大月138,000円  
を節税しつつ自力で積み立てる

# フリーランスと健康保険・年金

---

会社員	フリーランス
社会保険	国民健康保険
厚生年金	国民年金
半額負担	<b>全額負担</b>

保障の内容も違うので金額だけでは比較できないが…

# 気になる？保障の内容は

---

- 社保 > 国保
  - 傷病手当などの有無
- 厚生年金 > 国民年金
  - 障害補償や遺族補償の額

失ってわかるありがたみ

# フリーランスと休業補償

---

病気等で働けないとき

会社員	フリーランス
休業補償あり	0

会社員は、平均賃金の60%以上を会社から貰える

# フリーランスと健康診断

---

会社員	フリーランス
定期健康診断あり	なし
会社負担(※)	自腹。 <b>所得控除にもならない。</b>

※会社が払う義務は無いが、まともな会社なら負担する

# フリーランスと破産

---

仕事で大きな失敗をして相手方に損害を与えたとき

会社	フリーランス
有限責任	無限責任
会社の資本金の範囲内での弁済	<b>個人の負債</b>

# フリーランスと社会の理解

---

ローンを組みづらい。

**稼ぎを増やして札束で殴る**しか無い



# フリーランスと限界

---

- 物理的に手が足りない
- 自分以外の専門家が必要な仕事は無理

解消するには**仲間を増やす**しかない  
が、ぼっちには厳しい…

# フリーランスのここがづらいまとめ(1)

---

- 税制面で不利
- 公的保険が薄く割高
- 働けないと詰む

※個人の感想です

# フリーランスのここがづらいまとめ(2)

---

- 無限責任
- 社会的信用と理解の不足
- 限界値低い

※個人の感想です

つらい。

---

つらい。

# それでも！

---

一度はまるとやめられない！

それがフリーランスという生き方！

# そこで法人成りという選択

---

フリーランスの上位互換

としての法人

# 税制面で不利…なら

---

- 役員所得
  - 給与所得控除が受けられる
- 退職金
  - 保険等を活用して積み立て

# 公的保険が薄く割高…なら

---

- 社会保険、厚生年金
- 半額が会社負担
- 健康診断が経費



# 働けないと詰む…なら

---

- 休業補償
- 役員報酬

※仲間がいる場合に限る

# 無限責任…なら

---

- 法人は有限責任

※代表者が連帯保証人になる借金はしないことが大事

# 社会的信用と理解の不足…なら

---

会社役員ってだけでなんだかすごそう  
(小並感)

# 限界値低い…なら

---

- 考えに共感してくれる仲間を増やす
- 体力をつけて外部のパートナーをあつめる

# だいじなこと

---

フリーランスのつらいところを補完できても、

**良いところが失われたら意味がない**

フリーランスの上位互換を目指そう

# フリーランスの上位互換である ために

---

自己の責任で選べる **自由さを死守**

- 場所の自由
- 時間の自由

# 場所の自由のために

---

完全リモートの会社にする

- 物理的なオフィスは持たない
- **すべての制度をリモート前提で考える**

# 物理的なオフィスを持たない

---

- オフィスにいる人といない人の差をなくす
- あくまでもリモート



# すべての制度をリモート前提で考える

---

- リモートでできることしかやらない
- **リモートが不向きなものは工夫**
  - なるべくせずに済ますには？
  - やり方を試行錯誤

# 作業環境づくりを支援する

---

## 自宅の作業環境構築にお金を出すルールを作る

- 全社適用の規則が必要
- 役員だけだと税務署に突っ込まれる
- 手当だと所得が増えてしまうので別の方法で

# 印鑑文化つらい問題

---

国の制度がリモート勤務をまったく考慮していないつらみ

- いろいろな手続きで役員や社員の印鑑が必要
- やむをえず郵送で対応している

# 時間の自由のために

---

- 専門業務型裁量労働制
- フレックスタイム制

# 専門業務型裁量労働制

---

やり方は任せる!成果が上がれば時間は不問!という制度

- 労働時間と方法を労働者に任せる
- みなし時間で給与を支払う

# フレックスタイム制

---

- 週や月あたりの労働時間を決定
- 割り振りを労働者にゆだねる

# 専門業務型裁量労働制とフレックスタイム制の違い

---

全然違う

弊社は**極端に自由に寄せたフレックスタイム制**を採用

# 勤務日や出退勤時間の自由

---

裁量労働	フレックスタイム
なし	あり

- 裁量労働は早退が認められる。
- フレックスはいつ働いても（働かなくても）良い



# 適用可能な業務の制限

---

専門業務型裁量 労働	フレックスタイム
あり	なし

- 『設計』は認められる
- 『プログラミング』は認められない

# 極端に自由に寄せたフレックス タイム制を採用

---

働く日も時間も選べるようにしたい！  
ので、専門業務型裁量労働ではダメ

# 休日とか

---

- 労働契約上、休日が必要。
- たいてい『土日祝祭日、年末年始、盆』

弊社は

- 『週1日以上の各人の定める日』
- コアタイムを設定しない

# フリーランスほどは自由にできなかったものも

---

- 深夜業務は無理
- 月の労働時間は固定

# 深夜業務は無理

---

いつでも働ける!は無理だった

- 5:00～21:59の範囲内
- 22:00～翌4:59は割増賃金発生

自分で時間を選んで割増分を受け取るのは筋が通らないでしょ?

# 月の労働時間は固定

---

『正社員』の所定労働時間は固定

- Aさんは160時間
- Bさんは100時間

のようすることは、顧問社労士さん  
曰く**お役所的にNG**

# なるべく月の労働時間に自由度を持たせたい

---

- 短時間正社員
- 正社員の所定労働時間を減らす

# 多様な正社員

---

『多様な正社員』（『短時間正社員』）  
なら、個別の雇用契約で決められるば  
い

正社員	短時間正社員A	短時間正社員B
160	120	100

『多様な正社員』についてはググれ



# 正社員の所定労働時間を減らす

---

- 月160時間(週5日相当)→128時間(週4日相当)に変更
- 160時間までは残業扱いで働ける
- 副業自由

# 有給について

---

- 月160時間でも月128時間でも法定有給は同じ
- 月128時間めっちゃお得やん…
- 最近社員に**無限有給**という制度について聞いたので興味ある

# まとめ

---

- フリーランス最高…だがつらいところもある
- 法人成りで解決できる問題もある
- 仲間を増やすとリスクも大きくなるので、そこは考え方次第
- **仲間募集してます**